

2022年度 緩和ケア IPW 研修会 参加者募集

“患者さんの想いに寄り添う” 連携力を磨きませんか？

“連携力” は、地域包括ケア・地域共生社会・在宅医療介護
においても欠かせないスキルです

研修会の特徴

- ・多分野の専門職によるグループワーク
- ・模擬患者さんの参加 具体性と臨場感
- ・Web 会議システムによる開催 リモートで参加

※研修会の内容について詳しくは裏面をご参照ください。

参加申込み方法

- 1) 申込方法：以下の URL または右の QR コードから申し込みください。
<https://business.form-mailer.jp/fms/26990fe0173060>
- 2) 申込必要事項（下記を明記してお申し込みください）
①氏名、②専門職種、③所属・部署（勤め先）、④連絡先（TEL、E-mail）
- 3) 締め切り：2022年10月14日（金）17:00 ※各職種先着順



2022年 11月 6日（日）
9:30 ~ 16:30

Zoom を用いたリモート開催
(Web 会議システム)

参加費 無料 定員 50名
(各専門職種 4 ~ 5名程度)

※多職種のチーム構成とするために専門職種ごとの参加人数
を限定させていただきます

※埼玉県内の保健医療福祉施設等に従事する方を優先させて
いただきます

主催：彩の国連携力育成プロジェクト（埼玉県立大学・城西大学・埼玉医科大学・日本工業大学・埼玉県）

「利用者中心性」「チーム形成能力」「メンバー相互理解・尊重」の連携力育成を目指します

研修会の目的・内容

緩和ケアにおける利用者中心の統合されたケアを創造するために、**模擬的多職種連携実践**（緩和ケア IPW 演習）を通して、緩和ケアにおける「チーム形成プロセス」および「組織間・機関間の地域連携プロセス」に意図的に目を向け、より良い緩和ケア IPW の方法やあり方を考えます。

チーム活動における「遠隔」と「対面」の「やりとり（連携）」の違いについても考える機会とします。

緩和ケアと多職種連携（IPW：Inter-professional Work）の基本〈講座〉
緩和ケア IPW 演習 〈模擬患者を活用した多職種チーム活動〉

※しっかりとファシリテートしますので、安心してご参加ください。

これまでの研修会（オンライン開催）の様子



研修会の方法を説明中



ディスカッションの様子



モニター越しに参加者のインタビューを受ける模擬患者

彩の国連携力育成プロジェクト

彩の国連携力育成プロジェクトは、埼玉県立大学を代表校として、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学および埼玉県が協働した「文科省の大学間連携教育事業」において、平成 28 年度までに学部教育における「連携力育成教育プログラム（IPE プログラム）」の開発と実践に漕ぎつけたプロジェクトです。

その後、連携力育成を目指した事業を継続的に実施することの協定を再締結し、学部 IPE プログラムを基に連携について意図的に考え、実践的な多職種連携が行える能力（連携力）を育成するための“実践者向け IPE プログラム”としても構築・発展させました。

彩の国連携力育成プロジェクト ウェブサイト

<https://www.saipe.jp/>
(<https://www.spu.ac.jp/academics/ipe/tabid332.html>)

お問い合わせ先：kikaku@spu.ac.jp（埼玉県立大学・田口）

